

## 教授会議事要旨

日 時：平成30年2月6日（火）15時00分～15時45分  
場 所：本館2階会議室  
出席者：中野センター長、青井、野海、福田、保坂、與曾井 各教授、味村、井手口、梅原、緒方、嶋、下村、民井 各准教授、王、神田、依田 各講師、小林、菅谷、鈴木、高久、外川、友野、堀田、蓑茂 各助教  
欠席者：能町教授、石井、住濱、永廣 各准教授、郡、田村 各講師、池田、白鳥、RYU 各助教  
陪席者：岸本教授  
吉田技術専門職員、安田技術職員  
浅井事務長、松下庶務係長、針田研究協力係長、竹下会計係長

### 議 題：

#### I. 報告事項

##### 1. 各種委員会について

- (1) ラジオアイソトープ総合センター運営委員会（12月20日）<福田教授>
  - (2) 吹田地区事業場安全衛生委員会（1月5日）<井手口准教授>
  - (3) 男女協働推進センター会議（1月10日）<青井教授>
  - (4) 核物理研究センター安全衛生委員会（1月15日）<井手口准教授>
  - (5) 教育研究評議会（1月17日）<センター長>
  - (6) 部局長会議（1月17日）<センター長>
  - (7) 大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年記念事業委員会  
（1月17日）<センター長>
  - (8) 理工情報系戦略会議（1月17日）<センター長>
  - (9) 学術研究機構会議（1月26日）<センター長>
- 以上、各委員からメールにて事前報告済。

##### 2. 施設見学の実施について

- (1) 北海道室蘭栄高等学校（1月9日）<高久助教>
- 以上、メールにて事前報告済

##### 3. 平成30年度学内の兼任について

資料1に基づき、本センターへの兼任教員について報告があった。

##### 4. その他

- (1) 研究倫理および研究費の不正使用防止に関する説明会の開催について  
3月13日（火）14：00から開催する旨、報告があった。
- (2) 核物理研究センター学内宿泊施設予約システム（RRS）の停止について  
核物理研究センター学内宿泊施設予約システム（RRS）の停止について報告があった。

#### II. 前回教授会議事録（案）について

事前に送付していた平成30年1月9日開催の教授会議事録（案）について、意見等があれば本日までに連絡願うこととした。（同日までに連絡はなく原案のとおり確定した。）

### III. 協議事項

#### 1. 教員人事について

資料2－1～3に基づき説明があり、審議の結果、特任准教授（常勤）1名及び特任教授1名の新規採用、特任講師（常勤）2名、特任助教（常勤）4名、特任教授8名、特任研究員4名、教務補佐員1名及び技術補佐員1名の継続が承認された。

#### 2. 核物理研究センター運営委員会委員の改選について

核物理研究センター運営委員会委員の改選について、センター内委員を選出する選挙を実施する旨、資料3に基づき説明があり、投票を行った結果、実験系5名（青井、野海、福田、與曾井の各教授、嶋准教授）及び理論系1名（保坂教授）の候補者を選出した。

#### 3. 平成30年度招へい教員の受入れ及び称号付与について（追加）

資料4に基づき、招へい教員1名の受入れと招へい教授の称号を付与することについて説明があり、審議の結果、承認された。

#### 4. クロス・アポイントメント制度に関する協定について

資料5に基づき、奈良女子大学（継続）及び高エネルギー加速器研究機構（継続）との協定について説明があり、審議の結果、承認された。

#### 5. 平成30年度各種委員会委員等の選出について

資料6に基づき説明があり、審議の結果、一部変更の上、承認された。

#### 6. 協同研究員の責任者及び受入れについてについて（追加）

以下の協同研究員の受入れ2名の追加について説明があり、審議の結果、承認された。

プロジェクト・責任者：格子QCDによるハドロン間相互作用の研究・石井准教授  
(追加) 氏名：若山 将征・所属：Far Eastern Federal University (ロシア)

プロジェクト・責任者：原子核物理におけるパイオン・テンソル力・およびカイラル対称性の役割・保坂教授」

(追加) 氏名：竹本 宏輝・所属：大阪薬科大学

#### 7. その他

##### (1) 核物理研究センター宿泊施設の利用について

医学系研究科保健学専攻がサマースクールのため、7月29日（日）から8月12日（日）まで、核物宿舎（ツイン10室、デラックスツイン5室）の借用希望があつた旨、説明があり、8月1日（水）から3日（金）までは国際スクールを開催予定で核物宿舎を使用したい旨の申し出があつた。続いて、種々意見の交換が行われ、審議の結果、今月末までに国際スクールで宿泊が必要な人数を確定し、中野センター長へ報告することとし、春日丘ハウスの使用も考慮の上、検討することとなつた。